

創部 85 周年となり、節目の年を迎えました。OB 通信に場をお借りして部員から OB の皆様に部の現状をご報告いたします。

今年度から大幅なルール改正が施行され、今まで使用してきた射撃コートや射撃シューズが使用できなくなりました。新ルールに伴って、ほとんどの部員が新ルールに適合した射撃コートを購入したり、射撃シューズの外周や靴底を削ったりと大変な作業をしました。50m3 姿勢の射撃順序も膝射、伏射、立射の順序になりました。

ファイナルも新ルールに改正され、本選の記録から上位射手 8 名がファイナルに進出し、ファイナルでは本選の点数が関係なく 0 点スタートとなりました。50m3 姿勢のファイナルでは以前の形式であれば立射のみでの戦いでしたが、新しい形式では膝射 5 発を 3 シリーズ、伏射 5 発を 3 シリーズ、立射 5 発を 2 シリーズ行い、そこで下位 2 名が決まります。そこからは 1 発ずつ撃っていき 1 発ごとに 1 人ずつ順位が決まっています。50m 伏射、10m の種目においてもファイナルでは 3 発を 2 シリーズ行い、そこから 1 発ずつ撃っていき 2 発ごとに順位が決まっています。ファイナルが 0 点スタートになったため、本選で上位の射手と点差が開いていても優勝を狙うことができるようになった一方、本選でどれだけ高い点数を獲得してもファイナルで有利になることはなくなりました。実際にこの春から新ルールを適用した試合を経験し、これからはファイナルに強い射手の育成が課題となることを強く感じました。

ルール改正が行われてから、射撃練習やファイナル練習は小数点表記できる電子標

的での練習が好ましくなってきました。

■OB 会役員紹介

OB 会の役員の方々を紹介いたします。
(敬称略)

顧問・名誉会長	太田 英世
顧問	千葉 紅一
顧問	馬淵 多市
顧問	山本 泰助
顧問	多賀 久訓
顧問	舟楫 順一
理事・会長	高木 輝
理事・副会長	井上 春峰
理事・副会長	丸山 健
理事	土田 次郎
理事	北尾 修一
理事	林 國松
理事	服部 保志
理事	田切 秀和
理事	高野 保郎
理事	赤松 拓也
理事	八田 邦裕
理事	小泉 智彦
理事	生石 剛規
理事	大田 陽介

■今回のインカレで現役部員の役職交代が行われました。

2014 年度現役部員幹部紹介 (現 3 回生)

[主将] 久保 結子 (文学部)

富山県立南砺総合福光高等学校出身

[副将] 氏原 将人 (生命科学部)

私立立命館高等学校出身 (京都府)

[副将] 冬木 翔子 (スポーツ健康科学部)
福井県立足羽高等学校出身

[学連] 伊場 勇氣 (産業社会学部)
私立立命館宇治高等学校出身 (京都府)

[学連] 上田 章雄 (映像学部)
大阪府立富田林高等学校出身

■今年は7人の新入部員が入りました。
2014年度新入部員紹介

奥村 啓弘 (経営学部)
福井県立科学技術高等学校出身

柴田 智哉 (経営学部)
私立立命館宇治高等学校出身

神保 茜 (法学部)
山形県立南陽高等学校出身

竹本 笑 (情報理工学部)
奈良県立奈良高等学校出身

萩原 久樹 (経営学部)
神戸市立葺合高等学校出身(兵庫)

松巾 亜由 (文学部)
私立済美高等学校出身(岐阜)

森 大輝 (法学部)
徳島県立城南高等学校出身

■夏合宿

今年度の夏合宿は大阪府能勢射場で行いました。

今年度のインカレは同じく能勢で開かれるため、関東などの遠方の大学からもたくさんの方が合宿にいらしていました。

OB さんも様子を見にいらしてくださいました。

夜には花火や肝試しを行い、部員の交流を深めました。

秋関・インカレを前にしたこの時期に、充実した内容で準備を行うことができました。



■第 60 回全関西学生ライフル射撃選手権大会 及び
第 19 回秋季全関西女子学生ライフル射撃選手権大会

9/11～9/14 に大阪府能勢町ライフル射撃場にて開催されました。記録は以下の通りです。

種目	成績	順位
男子団体	6,777	1 位
女子団体	2,786	3 位

上記の通り見事男子優勝を果たしました。今大会から試験的にではありますが、優勝校の旗が掲揚されることになりました。それに伴い、優勝校である立命館の旗が掲げられました。



■第 60 回全日本学生ライフル射撃選手権大会 及び

第 26 回全日本女子学生ライフル射撃選手権大会

10/17～10/20 に大阪府能勢町ライフル射撃場にて開催されました。記録は以下の通りです。

種目	成績	順位
男子団体	6,756	3 位

惜しくも男子団体は 3 位という結果でし

た。

大会の期間中にはたくさんの OB の方々にお越しいただき、激励を頂きました。

そして、SB に電子標的とモニターが本格的に導入され、ファイナルでは観客もいっそうの盛り上がりを見せました。



■ 85 周年記念式典、筒音発行

来年は 85 周年ですので、85 周年記念式典を行います。

それに際しまして射撃部機関誌の『筒音』を発行しますので、寄稿をお願いいたします。紙面の都合上 200 字以内でお願いいたします。